

一般質問

茨 智仁 議員
新政会



二戸建て住宅の取得に対する助成制度の早期実現を

Q 若者の定住を促進し、人口減少社会に対応するためには、新婚世帯家賃補助やまちなか中高層共同住宅建設促進補助に加え、二戸建て住宅の取得に対する助成を早急を実現する必要があると思いが、どのように考えているのか。

A 住宅の取得に対する補助の導入については、公平性の観点、個人資産の形成につながる等の理由から、従来より慎重な姿勢を取ってきました。人口減少の克服は喫緊の課題と認識しておりますが、相当額の財源を要することから、財政状況や各種事業の状況等を見きわめつつ検討していきます。
(総務部長)



人工内耳の本体や消耗品の交換に対する助成制度の導入を

Q 重度の聴覚障がい者に対して有効な人工内耳であるが、消耗品や本体の交換頻度や経費はどの程度か。

A 本体は長くても10年程度で買い替えが必要であり、費用は100万円程度となりますが、保険適用が可能です。また、電池は3日程度で交換する必要があり、1か月あたり2,000円程度となります。
(健康福祉部長)

Q 装用者の費用負担軽減のため、助成制度を導入する考えはありますか。

A 県内他市では助成制度を設けているところが増えてきています。本市においても、関係団体等と協議する中で検討していきます。
(健康福祉部長)

質問の主な項目

- ・人口減少社会に適應する政策について
- ・市内三校高等学校野球定期戦について

齊藤 義明 議員
市民の声



十代の投票率を上げるための対策は

Q 本年の参議院議員選挙における十代の投票率に対する所感と投票率を上げるための対策は考えているか。

A 過去の選挙結果からすると、十代の投票率は予想より良かったのではないかと考えています。決して高い数字とは言えませんが、その理由としては、進学や就職などを機に一人暮らしを始めた際、住民票を移さずにそのまま選挙権を放棄した方が相当数いることが考えられます。

今後投票率向上のため、若年層への選挙啓発出前事業の実施、新有権者へのバースターカードや啓発冊子等の送付とともに新しい住所地での投票を働きかけていきます。
(選挙管理委員会事務局長)



鳥取県中部地震発生時の市立病院の状況は

Q 地震発生時の入院・外来患者への対応はどうだったか。また、市立病院は免震装置を有しているが、震度3の揺れをどう感じたか。

A 院内での対応については地震発生後、ただちに院内放送を数回流し、院内の皆様安心していただき、診療業務を継続するとともに、病棟においても看護師が全病室を見回り、異常の有無を確認しました。

揺れに関しては、建物全体がゆっくりと静かに揺れたという印象を受け、免震装置の効果を実感しました。病院という職場上、動いている職員も多く、なかには地震に気づかなかつたという職員もいたようですが、今後起こり得る巨大地震に対して、院内のみならず運ばれてくる負傷者に対しても診療を継続できるよう十分に備える必要があると再認識しました。
(市立病院事務局長)

質問の主な項目

- ・新年度の重点施策について
- ・市外から働きに来てくれる人への定住促進策について
- ・公共施設の統廃合及び民間活力導入の検討について